

SGMWは、Stibo SystemsのマルチドメインMDMを通じて可視性を高め、ビジネスプロセスの合理化を実現しています。

企業名：

SGMW

業種：

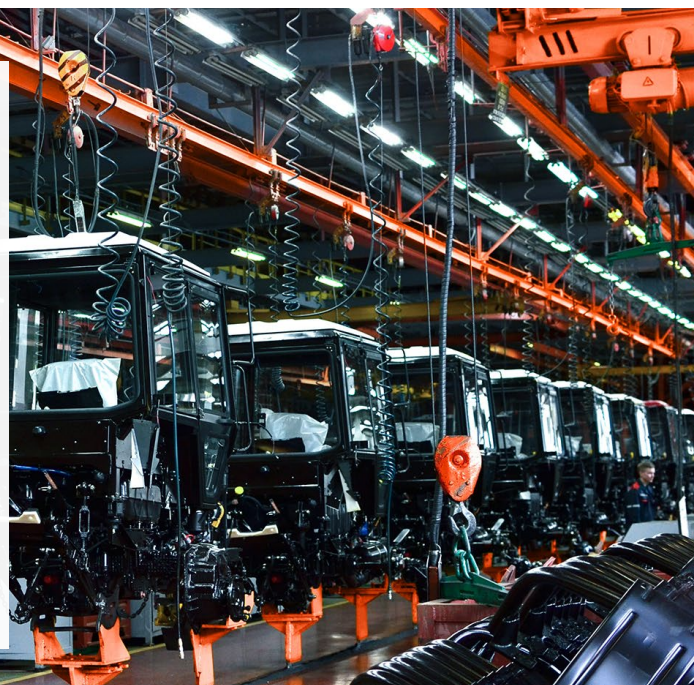
製造

地域：

アジア太平洋

ソリューション：

マルチドメインMDM



概要

SGMWは、SAIC Motor、General Motors (GM)、Liuzhou Wuling Motorsの合併事業です。本社は中国・広西チワン族自治区柳州市にあり、「五菱」(Wuling)と「宝骏」(Baojun)というブランドで、事業用と消費者向けの自動車を製造しています。現在、SGMWは中国最大の軽バン・メーカーの1つとされ、年間約150万台を生産しています。

SGMWは、ビジネスオペレーションを合理化すると同時に、既存ERPシステムへの依存を軽減する必要がありました。

そこで同社はStibo Systemsのマルチドメインマスターデータ管理プラットフォームを採用。

その結果、SGMWでは現在、次のことが可能になりました。

- 部品、部品表 (BOM)、契約書、物流、工場、サプライヤーのデータなど、流入する大量の各種情報を管理する。
- 部品や物流のデータを組み立てラインに直接配信する。
- 複雑なビジネスルールやデータ保守に沿って、データを正確に、可視性をもって集約する。

事業における効果

マルチドメインMDMは、SGMWに以下のメリットをもたらしています。

- 部品サプライヤーの可視性改善と追跡 (どのサプライヤーがどの工場にパーツを納品したか)
- 在庫管理の効率化
- 部品、BOM、契約書、工場、サプライヤーのデータの一元的なリポジトリの確保
- 組み立てラインへの正確な情報配信による製造プロセスのアイドルタイム最小化
- ERPシステムへの依存軽減
- サプライヤーの応答時間の最適化

顧客体験

組み立てラインのアイドルタイムを減らすために、SGMWはカンバン方式を採用していました。カンバンとはリーン生産方式の原理の1つで、カンバンカードと呼ばれるメッセージを使用して、製造プロセスにおいて、組み立て手順、指示、必要な部品を伝達します。当時、SGMWのカンバンカードは、ERPシステムで保管されており、さらに一部は物理的なカードでした。

したがって、SGMWはカンバンの原理を維持しながらも、組み立てや部品に関わる重要な情報を、個々のワークステーションへ直接送信できるソリューションを積極的に模索していました。

MDMプラットフォームのAPIを通じて、SGMWは現在、モバイルアプリ経由で、カンバンカードのクエリやメンテナンスを行えます。これによって従業員は、各自のワークステーションで部品や組み立ての指示をリアルタイムで受信し、利用できます。

課題

SGMWは、ERPやビジネスユーザーに由来する多様なデータタイプを処理しており、最終的にそれは、ワークステーションレベルの業務効率にも影響を与えます。ERPシステムの限界と、収集・処理しなければならないデータの多さに気付いたSGMWは、MDMソリューションの必要性を認識しました。

しかし、データ量が膨大なうえ、データタイプも異なるため、SGMWは、流入する全データを一元的なリポジトリに効率的にアップロードし、統合する集約機能も必要でした。

さらに、可視性の向上も主要な課題でした。

ソリューション

現在、Stibo SystemsのマルチドメインMDMプラットフォームが、SGMWの社内外のデータソースを集約する役割を果たしています。このソリューションによって、SGMWは必要な全情報を容易にアップロードし、部品、工場、BOM、物流、組み立て、サプライヤーに関する全データの一元的なハブとして活用することができます。

成果

マルチドメインMDMによって、SGMWは35種類のオブジェクトタイプと80項目の高度なビジネスルールに対処する、真のマスターデータ管理システムの実装に成功しました。このMDMソリューションは、各車体を組み立てるためのBOMを構成し、そして組み立てライン内の各所に部品を配分します。

またSGMWは、サプライヤーから個々の組み立てラインのワークステーションへ至る自動車部品のデータフローを、正確かつ可視性をもって監視できます。こうした変化は、データ品質、パフォーマンス、プロセスの透明性、製品ライフサイクルプロセスに劇的改善をもたらしました。

「Stibo SystemsのMDMに支援され、SGMWは原材料、サプライヤー、物流、製造、調達、車両のマスターデータを管理しています。データのコンプライアンスや可用性も高まり、下流システムに信頼できるデータソースを提供することができます。Stibo Systemsのデリバリーチームは、その幅広い経験を生かして技術的問題やリスクを克服し、このプロジェクトを完璧に成し遂げました。」

—SGMW、MDMプロジェクトマネージャー、リユー・デウエイ氏



Stibo Systemsについて

Stibo Systemsは信頼できるMDMを提供する、マスターデータマネジメント会社です。世界中の先進的な企業がマスターデータの戦略的価値を最大限に活用し、顧客体験の向上・イノベーションと成長の促進・デジタルトランスフォーメーションの推進を行うための基盤構築に不可欠な原動力となっています。当社は、企業が必要とする「透明性」、すなわち一元化された正確なマスターデータを提供することで、十分な情報に基づいた意思決定と、あらゆるビジネス上の目標達成をお手伝いします。Stibo Systemsは、1794年に設立されたStibo A/Sグループの非公開会社で、デンマークのオーフスに本社を置いています。詳細については <https://www.stibosystems.com/ja/> をご覧ください。